

NPO高麗 活動実績概要

NPO高麗は世界中の人々との人間的理解に基づいた交流から新しい平和な社会づくりを行うとの視点から全世界で各国政府機関と共同で「平和」のエネルギーを発信するIDAKISHINのソロコンサートおよび高麗恵子との共演による「高句麗伝説」コンサート活動を行っています。又、被災地等への支援活動として、エチオピア干ばつの地ゴデ住民5万人の給水事業、アジスアベバ孤児院への設備整備、貧困解決のモデル事業としてアンドロメダエチオピアコーヒービジネスの展開、各地被災地緊急支援、戦争復興のレバノンへの支援を行っています。

- 2000年エチオピア大使館の依頼で、地球温暖化が主な原因とされる旱魃に苦しむ南部ゴテを訪問、当時の駐日エチオピア大使が現地に日本から同行し、「問題の根本解決は社会を作っている人間の内面が変わること」との共通認識で当NPOのアーティストいだきしのコンサートを開催することを決定。同時にエチオピア支援がはじまり現地の要請でゴデ病院にレントゲンを寄付。
- 2001年11月エチオピア アディスアベバ メスケル広場にてエチオピア政府との共同主催にて人類発祥の地エチオピアから全世界へ平和を発信する大規模コンサート、いだきしん「天命」コンサートを開催。（聴衆11万人。全世界衛星放送、インターネット配信実施。）
- 2001年より高麗恵子、いだきしん共演による「高句麗伝説」コンサートを日本各地、世界各国にて開催（2025年7月現在までに283回開催）。
- 高麗恵子講演会「本音で生きて下さい」、および詩の朗読による「詩と語り」イベントを日本全国各地にて多数開催（2025年7月現在888回開催）。
- 2002年2月イラン建国記念FAJR音楽祭「文明間の対話」に招待され、いだきしんコンサートを2日間開催。
- 2002年よりエチオピアよりコーヒー生豆を直輸入開始、「アンドロメダ・エチオピアコーヒー」というブランド名にて、製品化、販売を行いその収益金でエチオピア南部での浄水事業（後述）などの支援プロジェクトを継続的に行っています。
- 2002年3月エチオピアに送る消防自動車11台の船積通関諸費用を寄付。
- 2002年12月エチオピア飢饉の緊急事態発生時にあたり、エチオピアDPPC（災害予防準備委員会）に寄付実施。
- 2003年7月熊野本宮大社大斎原にていだきしん「開闢の光景」コンサートを開催。
- 2003年8月、天命コンサートの成功実績を受け、タンザニア政府の依頼にてダルエスサラームムナジモジャ広場にて各国首相の集ったSADC（南部アフリカ開発共同体）サミット公式イベントとして、いだきしん「平和の灯火」コンサートを開催。
- 2003年12月イラン ケルマン州バム地区で起こった大地震に際し、緊急支援物資をイラン大使館経由にて被災地に送る。
- 2004年2月いだきしんイラン大地震支援チャリティーピアノコンサートを第一生命ホールにて開催。入場料収入全額をイラン大使館に寄付。
- 2004年7月青森県三内丸山遺跡にていだきしん「縄文」コンサート開催。
- 2004年10月イラン ペルセポリス遺跡（ユネスコ世界遺産）にて革命後はじめての催しとなった「文明間の対話」コンサートを開催。コンサートが禁止されている聖地ペルセポリスにての開催にあたり、いだきしん氏の音楽は通常のコンサートではなく平和を発信する文化そのものである」との特別な配慮により開催実現となり、開催許可がおりたこと自体がイランでは革命的なできごとであると多方面から言われました。
- 2005年3月レバノン Imam Sadr Foundationにいだきしんサウンドシステムを寄付。
- 2005年8月レバノンティールのヒボドローーム遺跡にてティール市共催にてはじめての海外開催となった「高句麗伝説」コンサートを実施。参加者のほとんどが号泣するほどの衝撃的なコンサートとして開催翌日地元新聞紙にはトップ記事として紹介され、また多くの新聞で報じられ、高麗恵子はティール市永久名誉市民の称号を授かる。このコンサート以降、特に中東諸国からの「高句麗伝説」開催要請を多く受け、高麗恵子は中東各国メディアでも大きく報じられるようになる。
- 2006年8月 イスラエル軍の爆撃に遭ったレバノンへの支援とし、日本にてチャリティーコンサートを7回開催。この戦争により中止となったヨルダン、ジェラシュフェスティバルにての「高句麗伝説」開催予定日であった8月11日に日本の柏江エコルマホールにて平和を発信するレバノン支援「高句麗伝説」コンサートを開催。
- 爆撃のあとの復興支援として、若い世代に未来への希望をとのレバノン、ティール市長の要請で、ビジネス・カレッジを設立する為のコンピュータ設備一式及び新設図書館の書籍購入代金をティール市に寄付。
- 2006年9月ブルガリアベリコ・タルノボツアレベッツ城にてタルノボ市共催「高句麗伝説」コンサート開催。
- タルノボ病院の新設オペレーション階のためにいだきしんがスペシャルCDを制作。翌年病院用のいだきしんサウンドシステムを寄贈。また高麗恵子はちりめんに独自のドローイング、オブジェを配したアート作品群を制作寄贈。
- 2006年11月ペルセポリスコンサートの成功を受け、イランテヘラン、サーダバ宮殿にていだきしん「Peace Message」コンサートを2日間開催。
- エチオピア、アディスアベバ\Ketchene孤児院への支援活動としてバイオエネルギー設備費の寄付およびクリニックの整備を行う。
- 2007年5月シリア ダマスカス オペラ劇場、6月ブルガリアベリコ・タルノボツアレベッツ城、ルーマニアギュウ市庁舎前広場、マケドニア・オフリド古代劇場及びビトラ中央広場にて各地の市共催により「高句麗伝説」コンサート開催。マケドニア・オフリド、セント・ソフィア教会及びビトラ・ナショナルセンターにていだきしんコンサート開催。
- 2007年8月ヨルダン、ジェラシュフェスティバルにて「高句麗伝説」コンサート開催。
- 2007年9月北京、紫禁城内にある中山音楽堂コンサートホールにて日中友好35周年記念の催しとして「高句麗伝説」コンサート開催。プログラムの一部では中国のグループHAYAとも共演。
- 2007年8月にエチオピアソマリ州水道局より技術研修のために4名を日本へ招聘、浄水プロジェクトのパートナーである静岡の大学産業株式会社にて研修を行った上で、11月にはエチオピア南部ゴデに5年間かけてソマリ州との共同事業として調査、設計の上で独自に開発した浄水給水装置の設置工事を完了した（日本より技術者6名を12日間派遣）。これによって住民5万人に安全な飲料水を供給することが可能となった。
- 2008年10月アルメニア・エレバン共和国広場にて「高句麗伝説」コンサート開催。
- 2008年11月/12月レバノンにて高麗恵子出演 いだきしん演奏「詩のコンサート」を4回開催。同月ペイルート・ユネスコパレスにて「高麗恵子心模様作品展」を開催。
- 2009年7月15日レバノンティールのヒボドローーム遺跡にて、2度目の「高句麗伝説」コンサート開催。同月26日ロシアモスクワのグリーンシアターにて、「高句麗伝説」コンサート開催。
- 2010年5月28日イラン・テヘラン・ヴァフダットホールにていだきしんコンサート、29日「高句麗伝説」コンサート開催。10月9日グルジア・メテヒ教会にて、16日アゼルバイジャン・グリーンシアターにて「高句麗伝説」コンサート開催。
- 2011年3月より、東日本大震災後、復興支援活動の一環として、被災地へ高麗恵子作心模様マープリングTシャツの寄付、アンドロメダエチオピアコーヒーの炊出しを岩手県、宮城県の各地にて実施。9月7日復興支援の拠点として、盛岡市にNPO高麗 東北センターを開設。
- 2011年7月6日、岩手県山田町 御蔵山イベントテントにて、8月3日釜石市 鈴子広場にて「東日本大震災犠牲者追悼、復興支援 いだきしんチャリティーコンサート」を開催。
- 2012年11月25日、インド・デリーにて、「いだきしんコンサート-Himalaya-」を開催。12月2日、デリー、プラーナ・キラーにて、「高句麗伝説」コンサートを開催。
- 2013年10月24日、インド・グジャラートにて、いだきしんコンサートを開催。10月27日、グジャラート・アフマダーバード、サーバルマティーリバーフロントにて、「高句麗伝説」コンサートを開催。
- 2014年11月東日本大震災直後より、東北復興の為に事業を始められた宮城県亘理郡山元町の山元いちご農園に、いだきしんサウンドシステムを寄贈。
- 2015年4月山元いちご農園の全ハウスに、いだきしんサウンドシステムを全額寄付にて設置。
- 2015年10月山元いちご農園の一角に、NPO高麗コーヒービジネスの拠点として、NPO高麗コーヒー焙煎工場を設立。
- 2015年11月1日 大津市にてNPO高麗迎賓館を設立。迎賓館は、ピアノの音が最も響くよう設計をし、いだきしん専用に製作されたFAZIOLIのピアノを設置。
- 2016年7月8日 東北復興の拠点として、仙台市青葉区シリウス一番町ビル1Fにカフェ「高麗屋」オープン。
- 2018年3月11日震災により町の9割が壊滅した宮城県山元町にて、山元いちご農園バームクーヘン工場＆NPO高麗焙煎工場カフェ「結工房」をオープン。
- 2018年3月12日山元町、山下駅前「つばめの杜ひだまりホール」にて、いだきしん 結（ゆい） コンサート開催。
- 2019年3月比叡山に「NPO高麗お茶室」オープン。高麗恵子のマープリング制作所を作る。
- 2019年9月23日-28日フランス、パリの2箇所のギャラリーにて高麗恵子作品展、23日\パリ国際大学都市日本館にていだきしんコンサートを開催。
- 2019年10月10日ロシア、ウラジオストク、沿海州フィルハーモニー劇場にて、いだきしん ピアノインプロヴィゼーションコンサートを開催。
- 2020年1月21日-23日 スペイン、マドリードにて、高麗恵子作品展、23日 いだきしん ピアノインプロヴィゼーションコンサートを開催。
- 2020年11月25日 東京 調布に「いのちの食 キッチンラボ」オープン。
- 2020年12月 8月4日 レバノン ペイルート港にて発生しました爆発事故への支援として、NPO高麗からレバノン赤十字社へ救急車を寄付。
- 2021年 5月 レバノン支援、特にレバノンにありますパレスチナ、シリア難民の支援のため、高麗恵子マープリン\Tシャツはじめ、衣類、鉛筆など1コンテナ分の物資を日本から船便にて寄付。
- 2024年 3月 シリアの人々へ支援の物資を日本からシリアへ送る活動を実施、シリアのアサド大統領夫人が代表をされているシリアのNGO団体「SYRIA TRUST FOR DEVELOPMENT」を受け取り先とし、国際紛争の困難な中、約1年がかりで40フィートコンテナ1個分の支援物資を航路で発送。NPO高麗からは粉ミルクやマープリングTシャツを発送。駐日シリア大使の要請があり、日本の他2団体の支援物資を同梱。



レバノン赤十字社へ救急車を寄付



エチオピア「天命」コンサート



ペルセポリスコンサート



旱魃の地ゴデ（エチオピア）にて

世界伝説 歴史の大ロマン 高句麗伝説



高句麗発祥の地 五女山／撮影：いだきしん

2025年9月12日(金) 柏江エコルマホール	10月1日(水) 三鷹市公会堂 光のホール
PM 5:50開場 PM 6:30開演 PM 8:00終演予定	PM 5:50開場 PM 6:30開演 PM 8:00終演予定
住所：東京都柏江市元和泉1-2-1（柏江市民ホール） 交通：小田急線「柏江駅」北口から徒歩約1分	住所：東京都三鷹市野崎1-1-1 交通：JR三鷹駅 南口7番のりばから<鷹54>新川団地經由仙川行き、晃華学園東行き乗車 (三鷹市役所前下車)／京王線調布駅 北口11番または12番のりばから<吉06><吉14>吉祥寺駅行き乗車（三鷹市役所前下車）
出演：高麗恵子(即興詩)・いだきしん(即興演奏、映像)	主催：特定非営利活動法人 高麗
全席自由10,000円(各回)	NPO KOMA

高句麗伝説

私は幼い頃より父から「高句麗王直系子孫であることを忘れてはならない」と言われ、育ちました。先祖と自分の人生の関係はわからずとも生命と等しく大切なこととし生命に刻まれました。3歳の頃、母と共に過ごす夕暮れ時、「人間は何故生まれ、どう生きていくのか、死んだらどこへいくのか」をわかりたいと望みました。死が人生の終わりでも人との別れでもない永遠の世界を求める人生が始まりました。同時に、人間の生きる意味を考え、答えを求め続け、人間は誰一人とし幸せでなければ幸せにはなれない存在と気づき、一人一人が健康で幸せに生きていける平和な世界を祈り始めました。答えを見出せずに心身が限界にあった24歳の時、求め続けてきた出会いが起きました。いだきしん先生と出会えたのです。生まれつき人の運命や体の悪いところが見え、目に見えない世界も見え、木や花、生き物の生命の声が聞こえ、生きているままが図形となり見えるように生まれついていた私は、人間は生まれながらに親や先祖から受け継いだ運命が宿っていることが素通しで見えていました。運命を改善できないと親や先祖の生き方を繰り返し生きる人生となることが虚しく、人間とし真の人生を生きることを求め続けてきました。いだきしん先生に出会った時、運命も見えず、何も見えず、すべてを乗り越えた御方とは一目でわかりました。当時死の淵にあった私は「生きていける」と、胸の内に希望の光が灯ったのです。運命を乗り越えた御方であれば、私も運命を変えていけると希望を抱きました。いだきしん先生は私は何も語らずとも全てを受け入れ、わかって下さっていることを生命でわかりました。生命に負った先祖の重荷も、悲しみ、苦しみ、言うに言われぬ辛さもすべて引き受け共に背負って下さっていることを生命でわ



高句麗発祥の地、五女山城

かりました。やがて重荷は先生の方に引き継がれ、私の生命からは解かれていったのです。身は軽く、生まれ変わったように心身が癒され、内から力が生まれてくるのです。私の生命に受け継がれた運命は先祖高句麗の歴史でした。いだきしん先生が全てを受容して下さり、即興演奏により表現して下さる時、自分の生命の内に受け継がれた高句麗の歴史が絵巻物のように見え、運命が解明され、解放される時に歴史の絵巻物を紐解いていくようでした。真実の歴史がわかることは生きる力となりました。生命に負った歴史の重荷は解放され、歴史の巻物を紐解いた先には生命の深奥に輝く真の光を見出しました。この光こそ真の自分を表す光です。真の光を表す真の人生が拓かれました。3歳の頃より求めてきた人間は何故生まれ、どう生きていくのか、死んだらどこへいくのか、人間とし生きる意味、死が終わりでも別れでもない永遠の魂を生きる人生の答えを得られました。誰に教えられる訳でもなく、自らの生命をもってわかっていく真は、生きる力となります。



高句麗発祥の地五女山のある桓仁県

1998年、生まれて初めて高句麗の地を訪ねました。忘れられない旅です。高句麗発祥の地、五女山城にて真と出会い、身が裂かれる程の悲しみが全身を貫き、真と邪が分けられました。作られた自分で生きる人生は壊れ去り、真の自分で生きる人生が拓かれました。人間はこんなにも涙が溢れ出ることに驚くほど、私は何日も泣き明かしました。涙によって過去の悲しい歴史が洗い流されていったように、涙が収まった時に真の自分を100%世界に表し生きる真の人生が始まりました。高句麗の地のぬくもり、戦の時代にあっても生命ひとつで生きた愛、永遠に共に生きる魂との出会いは人間の真を知る出会いでした。現在、「高句麗伝説」コンサートにて詩に表していけますことに生きる意味を見出す程、無上の幸せを感じます。それも全てを受容し、真を即興演奏により表現して下さる、いだきしん先生の演奏から目の前に高句麗の地が広がり、吹く風、薫る香りまで蘇るのです。大好きな恋し高句麗の地で詩を詠んでいる幸せに包まれます。2004年に世界遺産に登録されましたので、今はどなたも行くことができる事となりましたが、高句麗の地を旅する幸せを皆様と共にできますことは何より嬉しく喜び溢れることです。

1998年、父母が亡くなり、悲しみに沈み、どん底に落ち、死が意味すること、死んだ後の世界をわかることなくしては生きていけない限界にありました。先を創ることより生きる道はないと生まれる本音のままに高句麗の源を辿り、フェニキアの地へと向かいました。フェニキア9000年前の都市、ティールにて亡き父の魂に出会い、魂は永遠であること、「美は永遠」であることを生命をもってわかりました。悲しみに泣くことは終わり、永遠なる魂が内面の中心となり生きる新しい人生が始まりました。人間は内的環境が外的環境を作ることはいだきしん先生に出会い、内面に受け継がれた運命が解放され、真の自分を見出し本音で生きることで学びました。運命により出会い、作られた環境は、真の自分を実現する環境と変わりました。運命を繰り返す人生は悲しみ、苦しみを繰り返します。真の自分で生きる人生は誰もが幸せに生きられる環境を作っていけます。人間としこの世に生まれた意味、生きる意味、存在する意味を分かり表していける人生こそは幸せな人生と身をもって経験させて戴いています。一人一人の内的環境が取り巻く環境を作りますので、一人一人が運命から解放され、真の自分で生きる人生を生き始めることは世界の平和を実現できると見出し、3歳の頃より願い祈り続けてきました、世界の平和を実現する道を見出し、日本はじめ世界各地にていだきしん先生のコンサートと私の人生で経験した真実を世界に表しお伝えする「高句麗伝説」コンサートを開催しています。

飢餓の支援活動で行き始めたエチオピアは、人類最古の人骨が



レバノン、ティールにて

発掘された人類発祥の地でありました。発掘現場は熱風が吹き、即死する危険がある地であります。私はいだきしん先生と生命賭けで辿り着きました。生まれた生命の言葉、「民族、言語、思想、宗教により分けられた人間であっても生命の源を辿れば生命は皆ひとつ、愛」を全世界に送るメッセージとし「高句麗伝説」コンサートにて発信しています。

2005年魂の故郷レバノン、ティールにて聴衆が総立ちとなり魂覚醒し号泣した感動のコンサートは、翌日の新聞の一面のトップ記事に掲載されました。争いが絶えない地にて真の感動が平和を導くとの見出しで紹介され、私は永久名誉市民の称号を与えられました。世界各地にて開催する時、私はその地から聞こえる大地の声を詩に詠ませて戴きます。大地には真実が刻まれていると感じます。大地の声は魂の声と受け止めています。私が詩を詠む時、魂が目覚め、一人一人が生きる道を見出します。いだきしん先生は、その地の歴史も、その地に生きる方々の状態も、自然の生命もひとつとなり生まれる生命の音を即興演奏して下さいます。そして、大いなる存在、人智を超えた存在をも生命ひとつとなり即興演奏により顕して下さいます。人間は人間となるよりない存在との出会いとなります。生命全てを受け容れられ、表現される事により、生命に負った重荷は解放され、一人一人本来ある力を見出す事が出来ます。「高句麗伝説」では、一人一人の魂に響く表現が生まれます。たった一度の人生です。一人一人が幸せに生きる事で取り巻く環境が平和を創りますので、真の自分と出会い真の人生を共に生きていきたい気持ちで世界中の人と共に経験したく「高句麗伝説」コンサートを開催させて戴きます。



2005年レバノン、ティール「高句麗伝説」コンサート開催
翌日のトップ記事に掲載

書かれた歴史は権力者のものであり、真の歴史は人間の生命に刻まれているとは、海外に行く時にやはり多くの方々が語るところでありました。私の生命には先祖高句麗の歴史が刻まれていました。歴史が紐解かれると同時に運命解放され、真の自分を取り戻し、生命助かり、真の人生が拓かれました。「一人一人が真の自分を活かし輝き生きられる世界は平和な世界」と見出し、「高句麗伝説」にて真の自分との出会いの場を作りたく、日本はじめ世界各地で開催させて戴いてきました。日本では、私が動く時懐かしい香りに包まれ、魂の風、香りを感じます。出会いを待つ魂はたくさんいると感じています。地に埋もれる魂、海に沈んだ魂、表に出られず隠れ隠されてきた無数の魂は今、出会いを求め動き始めていることを感じています。魂取り戻し、日本の未来を創造していきたいと心から望みます。私は数年前から同胞探しを始めました。魂ひとつに生きる人間の絆は何によっても引き裂かれることはなく永遠です。同胞とは魂ひとつに生きた魂と感じています。「高句麗伝説」を開催しながら、たくさんの方々の出会いを心から望みます。9月12日は狛江エコルマホール、10月1日は、高句麗天を祀る日に三鷹市公会堂にて「高句麗伝説」コンサートを開催させて戴きます。狛江は高麗人が作った町と聞いております。三鷹は先祖代々住んでいた地であります。高句麗の緑の地にて開催させて戴きまことは魂の導きと受け止め、魂共に向かわせて戴きます。過去に生きた人の魂報われることなくして、今生きる私達の気持ちが活かされることはありません。過去に生きた魂が報われ、今を生きる私たちの気持ちが活かされ、未来に生きる人は生まれもつての能力、資質をそのまま活かし、人間として真に幸せな人生を生きていけますようにと望み「高句麗伝説」を開催させて戴いています。心よりご参加をお待ち申し上げます。

NPO 高麗
代表

高麗恵子

ご参加お申込み・お問合せ／ NPO高麗 東京都港区六本木3-4-16 IDAKIビル3F TEL:03-3505-8841 FAX:03-3505-8843 (株式会社いだき内)
E-mail : info@npokoma.org

お振込先／特定非営利活動法人 高麗 銀行振込：三井住友銀行 新宿支店(普)3104809／ゆうちょ銀行 019店 当座0603779
入場料は全額、NPO高麗の世界平和実現へ向けての活動資金とさせていただきます。

ホームページにて 情報発信中	NPO高麗	http://www.npokoma.org	(チケットはホームページからもお申込み頂けます)	KEIKO KOMA Selection 「高句麗伝説」 
	KEIKO KOMA Selection	https://www.keikokoma.com		
	KEIKO KOMA Web Salon	https://salon.idaki.co.jp	→世界平和へ向けての道を作っていく為の語り合い→	
	高麗ギャラリーカフェ	http://www.komagallerycafe.com		
	高麗屋	https://komaya.npokoma.org		
	高麗屋 仙台	https://komaya-sendai.npokoma.org	結工房	http://www.yui-koubou.net
	高麗屋 東京	https://www.cafe-komaya.com	いのちの食 キッチンラボ	https://foodforlife-kitchenlabo.com

高麗恵子出演 ラジオ番組「Live Your Dream～本音で生きて下さい」

FM 大阪：毎週土曜日 am7:55～am8:00／FM 仙台・岩手：毎週日曜日 am7:55～am8:00／FM 青森：毎週日曜日 am6:55～am7:00 にて放送中